

清流

西粟倉中学校だより
令和6年2月26日(月)発行



2月の生徒会 SDGs
「入学説明会とSDGs発表会で中学校に
ついて知ってもらうために分かりやすく説明する」

校長雑感

～「有終の美」と
「バトンタッチ」に向けて～

校舎周辺の木々の芽も少しずつ膨らみ、春の訪れを感じる季節となりました。今年度も残すところわずかとなり、学校では今年度の締めくくりと来年度の準備に向けて取り組んでいるところです。先日は、2年生の「立志式」を実施していただき、夢や目標、なりたい自分に向けて志を立てるとともに、支えてくださる周りの人への感謝の気持ちを持つ機会となりました。1年生は、来年度の職場体験に向けての「職場訪問」を行い、担当者の方からの説明を通して、仕事や働くことへの意識付けの機会となりました。また、小学校6年生には「新入生説明会」を行い、中学校の様子を知ってもらうとともに、入学に向けての心構えとする機会となりました。(生徒会本部役員の生徒が分かりやすく説明してくれました。ありがとう。)

さて、3月は、3年生にとって、義務教育9年間の最後の月となります。悔いの残らない中学校生活を送り、「有終の美」を飾って欲しいと願っています。すでに、自分の進路が決まった人もいれば、3月7日(木)・8日(金)に行われる公立高校一般入試に臨む人もいます。不安や焦りもあった中、これまで努力してきたことに自信をもち、当日に向けて気持ちと体調を整えて本番に臨み、最後まで諦めず、持てる力をすべて発揮して欲しいと願っています。また、そういう仲間を思い、これまで培ってきた“共に頑張る団結力”を最後まで発揮して欲しいと思います。そして、入試が終わると、いよいよ10日(日)に卒業式を迎え、本校を巣立っていくこととなります。本校との「別れ」、新たな「旅立ち」、初めて自分の選んだ道を歩み出すことでもあります。

卒業式は、1年間の本校教育活動の集大成の場です。全校生徒・教職員が、心を一つにして活動できる最後の学校行事、卒業生と在校生がそれぞれの思いを込めて、力を合わせて素晴らしい卒業式、感動あふれる最高の卒業式にしたいと考えています。卒業生の前途に幸多かれと心から祈るとともに、ふるさと西粟倉を誇りに、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを持ち、堂々とした姿で旅立ってください。

これまでお子様の成長を陰日向になり、温かく見守ってこられた保護者・家族・地域の皆様には、15年間に及ぶ様々なことが思い出されるとともに、感慨深いものがあるかと思えます。保護者の皆様、関係の皆様にもご来校いただき、一生に一度の卒業式が、厳粛で感動的な卒業式、そして、次のステージに進む卒業生の背中を力強く後押しする卒業式にしたいと思います。

1・2年生は、今までお世話になった3年生の卒業式に、感謝の気持ちをもって臨んで欲しいと思います。皆さんの総力により、3年生にとって、感動的で一生涯忘れることのできない思い出となるよう、役割を自覚して素晴らしい卒業式を創り上げましょう。そして、3年生からのバトンをしっかり受け取り、次は皆さんが、先輩・リーダーとして本校の新しい歴史を創る主役となります。3学期の皆さんの様子から、すでにその意識を持ち、取り組んでいることを感じていますが、さらに日々の学校生活を充実させ欲しいと思います。そのために大切にして欲しいことは、今年度の生活目標である「凡事徹底」です。このことを再度意識してやり遂げ、修了式を迎え、そして、来年度に繋いでいきましょう。



村内在住の小林辰馬さんを講師にお招きし、ギターの授業を実施しました。音楽担当の片山先生のクラリネットとの共演もありました。生徒たちは、トークと生演奏を堪能し、ギターへの興味が湧いて、早速、あわくら会館で練習するぞ!という生徒がいました。



地域学習発表会

2月5日にあわくら会館で「地域学習発表会」が開催されました。生徒会本部が、中学校に関わる「村のエネルギーの取り組み」について発表しました。



入学説明会

16名が
入学予定
です!

2月9日に入学説明会と授業見学を実施しました。先生方の話を聞いたり、先輩たちの姿をみたりして、中学生になる心構えができたことと思います。先輩たちも新入生の入学を楽しみにしています!



球技大会

2月13日に全校で球技大会を実施しました。学年や男女の垣根を越えて、楽しいひと時を過ごしました。



立志式

2月15日(木)に立志式が挙行されました。3学期になって学習や生活の様子に成長が感じられる2年生19名は、将来の夢や目標を漢字一字で表現しました。式典では、村長さん、議長さん、教育長さん、校長先生から更なる成長と活躍の期待が込められたメッセージをいただきました。

